

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 9月 30日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 北葛城郡広陵町萱野460

氏 名 奈良県第二浄化センター  
所 長 川端 伸幸

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0745-56-3400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	奈良県流域下水道センター 第二浄化センター
事業場の所在地	奈良県北葛城郡広陵町萱野460
計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

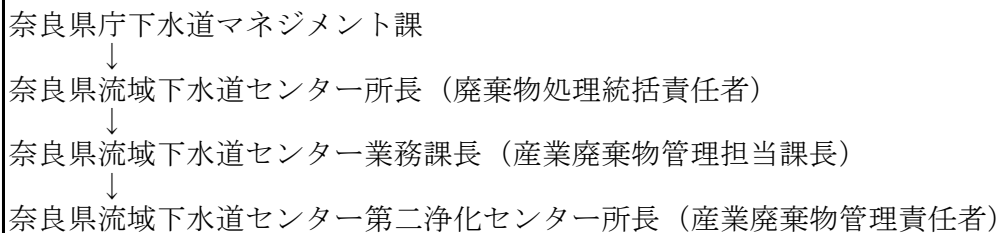
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	水道業
② 事業の規模	計画処理人口 373,584人
③ 従業員数	50人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	流入下水→濃縮→脱水(中間処理) → 陸上埋立処分(最終処分) → セメント資源化(再生利用)

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	排出量	265018 t	— t
	(これまでに実施した取組)  汚泥のセメント資源化 (再生利用)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	排出量	243711 t	— t
	(今後実施する予定の取組)  汚泥のセメント資源化 (再生利用)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  特になし

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	234173 t	— t
(これまでに実施した取組)			
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	208923 t	— t
(今後実施する予定の取組)			
—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	全処理委託量	30845 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	13321 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	17524 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
(これまでに実施した取組)  汚泥のセメント資源化（再生利用）			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	全処理委託量	34788 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	14688 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	20100 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
汚泥のセメント資源化（再生利用）			
※事務処理欄			